

令和5年度 静岡県立袋井特別支援学校 第2回 学校運営協議会 議事録

1 日時 令和5年 10月 25日(水) 9:30～11:30

2 会場 静岡県立袋井特別支援学校 会議室

3 参加者 計 16人

(1)学校運営協議会員 6人

委員 A、委員 B、委員 D、委員 E、委員 F、委員 G 委員 C は欠席

(2)学校関係者 9人

校長、副校長、教頭、事務長、小学部主事、中学部主事、教務課長

支援連携課長、コミュニティ・スクール ディレクター

4 内容

(1)学校長挨拶

教育活動も中盤を迎え、学校が活発になっている。10月は毎週、修学旅行に行っている。

11月は、光る子まつりがある。皆様にご協力いただきたい。

学校は、チームでやっている。地域の方にも(そのチームの中に)入っていただき、逆に地域のチームの中に学校も入れてもらってやっていきたい。

(2)会長挨拶

・(地域の)祭りも4年ぶりに本格的に行い、笛を吹いたり、屋台を練ったりして楽しんだ。

・小学生の安全のために、高尾台から出てくる所の三叉路と、小川町の郵便局の50m先にも北向きに防犯カメラを付ける。あつてはいけませんが、万が一を考えて。(カメラを付ける)

・特別支援学校の子どもたちによる、コミュニティセンターでの清掃や掲示物、あえるもんでの清掃、飾り付けなどの交流が、今まではまばらだったことが、きちんとやることができている。今後も継続していきたい。

5 報告事項:(司会 副校長)

(1)学校経営の進捗状況

①学校全体の様子を報告(副校長)

※児童生徒の活動の様子を写真で提示しながら報告

②教育活動中間報告について(教務課長)

教務課長

<未然防止の行動力と有事への対応力>

・前期も避難訓練や緊急時の対応訓練に取り組んできた。今後は、訓練に外部講師を招き、取り組んでいく。

・今後も様々な自然災害の可能性があるので、県内外の情報を周知し、危険意識が途切れないようにする。

・9月の防災ウィークでの非常食体験では、医療的ケアの児童生徒は、実際に避難する部屋で食事をした。実際には水が使えないため、もっと手指消毒が必要なこ

とや、部屋内のよりよい配置の再検討が必要なことが分かった。今後、反省を生かし、より災害時をイメージし、環境に必要なものなどを整えていく。

- ・医療的ケアの災害用備品の保管場所や使用方法の確認を、引き続き定期的に行っていく。

＜共生社会の実現に向けた地域社会や保護者と連携した取り組みと情報発信＞

- ・小学部、中学部では、交流籍校交流に計画通り取り組んでいる。学校間交流では、4年ぶりに袋井南中学校との交流を実施することができた。
- ・児童生徒の教育活動の発信では、ホームページ発信や作品の展示を計画通り行っている。
- ・後期は、今後の取り組みを実施し、成果目標により近づけていきたいと思う。

③教育活動への提言（学校運営協議会委員）

御意見や御質問(○)とそれに対する回答(⇒)

委員A

○本年度、県内の特別支援学校で大きな事故の有無

⇒本校も、県下の特別支援学校も今のところ、大きな事故や怪我はない。

委員G

○防災では地震よりも雨が心配。ある事業所では、実際の夕方から夜に、停電で医療的ケアの方がいる想定で訓練を行った。リアルな防災訓練が大事。今の時代を入れた訓練をやってくると生きていくのではないか。

⇒リアルな訓練が大事。学校でも想定はしたが、やってはいない。今後取り組んでいきたい。

委員E

○災害時の訓練の回数。

⇒年間4回はやっている。

委員E

○1回1回丁寧に行うことが大事。一番大変な災害は火災。「いろいろな場面を想定して」が大事。

委員B

○救命訓練の有無。

⇒AEDを実際に触って、年に1回、当初に職員全員がやっている。

委員B

○毎年訓練の内容がどんどん変化している。みんながAEDを触っていて安心。行動に移しやすくなる。

⇒いただいたご意見を後期に生かしていく。

6 協議事項（司会 会長）

（1）「地域や社会とつながり合う授業や教育活動の実践」

①進捗状況報告（支援連携課）

※児童生徒の活動の様子を写真で提示しながら報告

CSディレクター（以降CS）

- 各学部では、狙いが異なり、小学部では、遊びながら地域について学んでいる。この地域は、歩いて行ける公園が多くて良い。
- 中学部では、地域にどんな施設があるか学んでいる。あえるもんでは、児童生徒の作品を展示、きぼう館では清掃をさせていただいている。地域のために活動できる。袋井花の会の方と一緒に校内の花壇へ花を植えている。
- 高等部のサービス班では、まず講師を招いて校内で清掃ができるようになってから地域での清掃活動に取り組んでいる。他にも、無印良品の店舗に行き、商品の並べ方を学んだり、陶芸班は、和の湯へ受注製品を届けたりしている。

②御意見や御質問(○)とそれに対する回答(⇒)

委員D

○無印良品のように、市内外でどれくらいと連携をとって活動しているのか。生徒たちがどういう所と交流しているのか？

⇒高等部の作業では、和の湯、コメリ、郵便局などで販売を行っている。

委員A

○良いと思う。地域の人もどう関わっていいか見守っていると思う。学校の生徒が地域に出ている姿を見て、地域の人が聞いてくることもある。そうやって知ってもらうことが大事。

委員G

○学校から行くことが大事。和の湯はお客さんもいる。

委員G

○他の地域に比べて受け入れてくれていると思う。地域に恵まれている。

委員A

○高南地区はサラリーマン世代が多く、都会的でお互いそれぞれと言いう感じ。豊沢や駅前だともっと濃い展開や関わりができるかもしれない。

委員G

○基盤ができるとよい。

⇒新型コロナウイルス流行のときは、作品展で交流していた。それは継続している。

校内も作品展への体制を整備して出展しやすくなった。

(2)「光る子まつり」について（教頭） ※配布資料光る子まつり実施計画をもとに説明

①本年度の光る子まつりについて説明

教頭

- 昨年度は、制限をしていたが例年通りに戻す。
- 来場者数はリストバンドを配布して把握する。
- 内容は、小学部低学年は屋台の引き回し、高学年は遊びコーナーの運営。中学部と高等部は販売会。高等部は保護者と一般に分けて行う。バザーも行う。
- 高南地域には、チラシを回覧してもらっている。本年度はたくさんの人に来てもらってみたい。学校運営協議会の皆さんには当日来ていただきたい。

②御意見や御質問（○）とそれに対する回答（⇒）

委員B

- 本年度の制限の有無。昨年度は学校から、あまり拡大しないという話があったが、ネットワークで磐田の方にも発信したい。
- ⇒全く制限はない。

委員D

- 学校運営協議会の委員は10：00～11：20以外の参観も可能か。
- ⇒他の時間も見ていただいてもよい。

委員G

- 他の事業所が体育館で販売していたが、それは今後やっていくのかどうか。
- ⇒コロナ前に戻ってきているが、以前のように、鉄道やマジックなど外部が来ていたようにまだそこまでは行っていない。

委員G

- 今後地域を呼び込むことをもう少し考えてもよい。PTAはフル活動になって子どもの所にも見に行けない。例えばあえるもんの方が来てくれてカフェをやってくれたり、高等部の作ったコーヒーカップを使ってくれたりしたら宣伝になる。学校内に、（地域の人に）入ってもらうが大切。地域の人が学校に入ってもらえたらと思う。

(3) 光る子まつりの広報活動について

①現在行っていること

- ・地域の回覧板や学校のホームページを使って行っている。

②他に考えられる広報活動

- ・チラシを市役所やコミュニティセンターに置く。
- ・チラシを子どもたちが市役所などで配る。

(4) 「地域販売会」について (中学部主事)

※配布資料「地域販売会について」をもとに説明

①地域販売会に向けてのアイデア

<地域への関わり>

- ・地域への受注販売
- ・販売時に子どもが直接説明する

<広報活動>

- ・販売会のネーミングがあるとよい (今までの袋特市でもよい)
- ・サブタイトルもあるとよい。
- ・のぼり旗があるとよい。

<製品>

- ・製品数や製品の工夫 (紙漉きで名刺を作るところもある) をするとよい。

(5) ボランティア (学校応援隊) 募集について (支援連携課長)

①現在応援していただいていること

- ・作品展示場所の提供
- ・学校見守り支援
- ・授業づくり応援 (畑、地域探索、清掃)

②より地域の応援隊を広げていくために

<広げる方法>

- ・ママさんグループ等にまず知ってもらう。その後、見守ってもらい、関わってもらう。
- ・まずは、PTAから始め、保護者が定着し、地域に広げていく
例：本読みボランティア、旗振り、畑等
- ・地域の人に先生になってもらう
- ・卒業生の保護者 (卒業生の親としてのつながり。OBつながり)
- ・学校からテーマ (やりたいこと) を提案があるとよい

<他の活動 (応援) 方法>

- ・きぼう館のサークルを活用
- ・サツマイモを畑で作し、料理する。
- ・以前、地域防災で防災かまど作りをやったことがある。
- ・地域の生徒が本校に来て学校の先生になる。(地域の方がコーディネーターになって)
- ・先生の姿を地域の人に見てもらうこともよい。

7 学校長挨拶

いろいろと学校では出てこないアイデアを出していただき、これが学校運営協議会だと感じた。来年、再来年のアイデアをもらった。やれるところからやっていく。これからもいろいろなアイデアをお願いしたい。

8 連絡事項（副校長）

- ・第3回 学校運営協議会

11月18日（土）「光る子まつり」を参観していただく。

- ・第4回 学校運営協議会

2月28日（水）今年度の学校評価と令和6年度学校経営計画について等